

令和4年度

入学試験問題

帰国生

国語

- 1 問題用紙は^{かんとくしゃ}監督者の指示があるまでは開いてはいけません。
- 2 開始のチャイムが鳴ったら、最初に問題用紙と解答用紙に受験番号と氏名を記入して下さい。
- 3 答えはすべて解答用紙に記入して下さい。
- 4 記述で答える問題は、特に指定のない場合、句読点^{くとうてん}や符号^{ふごう}は一字として数えるものとします。
- 5 問題は1ページから10ページまであります。

受 験 番 号		氏 名	
------------------	--	------------	--

森村学園中等部

次の①から⑧の——部のカタカナを漢字になおし、⑨～⑫の——部の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

- ① コウダイ無辺の宇宙を感じる。
- ② 計画がスジガき通りに進む。
- ③ ヒマン解消のため、運動を始めた。
- ④ カネン性のは火からはなす。
- ⑤ 契約けいやくがハダンハダンに終わる。
- ⑥ 健康けんこうにリュウイリュウイしてください。
- ⑦ 乗客がコウクウキコウクウキから降りる。
- ⑧ この川のミナモトミナモトは湖である。
- ⑨ 彼は父の操かれり人形だ。
- ⑩ 彼の失敗は枚挙まいこにいとまない。
- ⑪ 便覧べんらんで調べる。
- ⑫ 素行そこうをたただす。

□ 次の問いにそれぞれ答えなさい。

問一 次の各文の()にあてはまる言葉として最も適当なものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

① 深夜からしんしんと雪が降りつもり、朝起きてみると、一面が() (世界であった。)

ア 白 イ 銀 ウ 新 エ 雪

② 私の部屋は南()なので、よく日が当たります。

ア 向き イ 表 ウ 辺り エ より

③ 孫がかわいい()、つい甘やかしてしまう。

ア せいで イ あまり ウ ことで エ くらいなら

④ 先生は生徒のことを考えて宿題を出すのが、生徒() (宿題はないほうがうれしい。)

ア にはしては イ にしたら ウ にしても エ にしろ

⑤ 青くすみ()空に白い雲が浮かんでいる。

ア 晴れた イ 上がった ウ かかった エ きった

問二 次の()部の言葉の使い方として最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

① 明るみ

ア 彼の過去におかした重大な事実が明るみに出た。

イ 机の下にかくしていた算数のテストが明るみになった。

ウ 全国書道コンクールの入選が明るみになった。

エ 電気の明るみのもとでテレビは見るようにしましょう。

② 工夫する

ア ドレスを自分で作るなんて彼女は工夫していますね。

イ 工夫すればその中学に合格することも夢ではありません。

ウ わたしは友だちと工夫して付き合っています。

エ せまい部屋ですがぼくは工夫して使っています。

③ 日進月歩

ア 一歳いっさいになるいとは毎日よく食べ、日進月歩成長している。
イ 科学の発達は日進月歩であると痛感する。

ウ 私の目標は日進月歩で進歩することです。

エ 漢字の学習には日進月歩努力することが大切である。

④ おっしゃる

ア 先ばいあきが最後に「卒業おめでとう」とおっしゃられた。

イ ぼくは「明日行きます」と祖父におっしゃった。

ウ 母が早くお散歩に行きたいと妹におっしゃいます。

エ 「お母様によろしく」と先生がおっしゃいました。

問三 次の①から③の単語について、対義語を選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 意外 ア 当然 イ 意見 ウ 以内 エ 案外

② 理想 ア 事情 イ 現実 ウ 想像 エ 現代

③ 収入 ア 手当 イ 所得 ウ 給料 エ 支出

問四 次の①・②の文章は表現に不適切な部分があります。

① 彼の特技は、英語を話します。

② 私は彼と同じテニス部に所属している。私が先ばいあきに怒られているときに、よく笑っている。

(1) どのような点が不適切ですか。それを説明したものを次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア 主語が省略されている。

イ 主語に対して、適切な述語でない。

ウ 述語が省略されている。

エ 文の時制がちがっている。

(2) ①はどのように改めればよいですか、修正した文を答えなさい。ただし、主語は変えないこと。

問五 次の文章は報道について書いた二つの意見です。二つの文章を読んであとの問いに答えなさい。

都合により公開を控えさせていただきます。

(1) ——— ①『ちょっと待てよ』と言ってしまった」とありますが、この言葉はだれに対してどのように言ったと考えられますか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 筆者が、一緒にテレビを見ていた家族に向かって頼むように言った。
- イ 筆者が、事故を起こした両親に対して怒りをぶつけるように言った。
- ウ 筆者が、スーパーの駐車場係に向かって呼びかけるように言った。
- エ 筆者が、テレビを見ながら自分自身に対して確認するように言った。

(2) ——— ②「本当にその通りだと思った」とは、筆者がどのように思ったということですか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 若い両親が買い物に子ども連れて行かなければ死亡させることはなかったのと思った。

イ 若い両親がアナウンサーに「殺人者である」といわれるのはもっともだと思った。

ウ 子どもを車に置いたまま若い両親が買い物をしていたのは事実であると思った。

エ スーパーに子どもを預かるところを作るべきであるという提案が適切であると思った。

(3) 意見Aと意見Bについて説明している文として、最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア Aは報道は事実のみを伝えるべきであると述べているのに対して、Bは事実に加えて各社やアナウンサーの意見を表明するべきであると述べている。

イ Aは報道はできるだけ事実を伝えるべきであると述べているのに対して、Bは事実ではなくアナウンサーの意見を伝えるべきであると述べている。

ウ Aは報道は記者の意見を加えず事実のみを伝えるべきであると述べているのに対して、Bも報道は事実のみを伝えるべきであると述べている。

エ Aは報道された事件に筆者が同情しているのに対して、Bは事件に関する筆者の個人的な感情を差しはさむことなく客観的に意見を述べている。

(4) 情報の中には「事実」と「意見」の混在することがよくあります。例えば「日本は北半球にある。」という文は、「事実」ですが、「日本の国土はせまい。」という文の「せまい」という部分は書き手の「意見」です。次の文の中から「意見」の書かれている文をすべて選び、記号で答えなさい。

ア ベートーヴェンは交響曲『運命』の作曲家である。

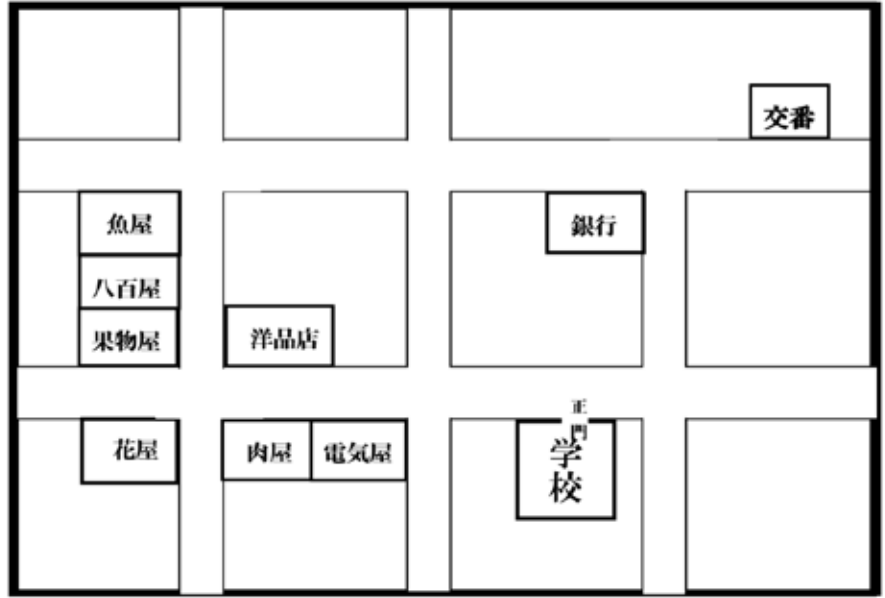
イ 関東地方で地震があったと新聞に書いてある。

ウ あの店の干物は塩からいから食べたくない。

エ 大谷選手が野球のルールを子どもたちに説明した。

オ このボールペンは三百円であるのはかなりお得です。

問六 次の地図を見て、後の問いに答えなさい。



① 太郎君は今、学校の中にいます。ある店に行きたくて、その道順を友達に尋ねると次のように歩いていくように言われました。太郎君はどこの店に行きたかったのでしょうか。その店名を答えなさい。

正門から出て学校を背にして左に進み、二つ目の十字路をわたった左側の角だよ。

② あなたが学校で交番の場所を先生から聞かれたとします。あなたならどのように説明しますか。説明する文章を記しなさい。ただし、説明には目印となる施設を必ず使うこととします。

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

明治以降、日本語はひたすら均質化される方向にすすんできました。方言撲滅をめざした国語教育、標準語奨励運動がその典型です。この均質化は、実質的には、教育によってではなく、マスメディアによってほぼ完成の域に達しました。わたしは、それは一九八〇年代であったと理解しています。

そして、均質化の完成と同時に、方言の地位向上、格上げ現象が目立ってきました。もちろん、方言の格上げといっても、それは標準語をやめて方言にもどそうということではなく、あくまで*サブカルチャーとして方言を活用しようということです。東京語を話さないようにしよう、ではありません。標準語としての東京語を話せるようになったからこそ、方言を見直そうという運動が出てきたのだと思います。

方言の復興で注目される点は、それが日本だけではなく、①そのような運動の風が地球上の各地で吹いているということです。

たとえば、*クイーンズ・イングリッシュの本場であるイギリスでも、このところ、*バック・トゥ・ローカルという動きが急激に進展しています。地方出身の有名人や人気スポーツ選手たちが堂々と方言で話す機会が増え、改まったことばより出身地のことばで話すほうが自分を主張できるという考えがひろまってきているのです。②若者たちは携帯電話でなまり丸出しで話しています。そして、クイーンズ・イングリッシュはカッコ悪いと言います。若者のあいだでは、地方なまりがクールでカッコいいと映っているようなのです。

これは、いままでのイギリスではちょっと考えられなかった現象です。BBC放送でも、キャスターにわざわざスコットランドなまりのある人を起用して、人気を集めています。かつてのイギリスとは大きく変わってきているのです。料理番組でも、コックの人たちに強烈な下町言葉をしゃべらせ、人気を得ている状況なのです。

これは日本でも同様で、一九九〇年代以降の顕著な流れです。漫才などを契機として大阪弁が全国に流布したのもそうですし、公的な場でも東北弁をそのままにしゃべることが増えつつ恥ずかしいことではないといった状況が出てきています。そして、それが逆に、クールというか、誠実な自己主張につながるという見方が一般的になりつつあるのです。

世界的に言語の多様性を大切にしようという気運があります。そういう大きな流れの中に、現在の方言における状況、つまり③方言を大切にしよう、地位を向上させようという動きも組みこまれているのではないかと思います。

その背景には、ベルリンの壁崩壊、そして一九九〇年代に入ってからソビエト連邦の崩壊といった時代の変化もかかわっているのではないでしょう。帝国が崩壊し、権威が失墜すれば、結果として民族運動と同様に、いままで封じこめられていた少数民族が復権し、*アイデンティティを主張しはじめるのです。押さえられていたときには出せなかったものが、その重しがはずされた瞬間に自由になる、解放されるのです。

(中略)

もうひとつの背景は、*グローバリゼーションということばにあらわされるアメリカの世界支配です。英語による世界制覇がそこからだと、わたしは見えています。

東京語が全国にいきわたったから方言が復興してきたのと同じように、世界中でコミュニケーションツールとしての英語が話せるようになってきたから、各地の地域語が復権してきたのだと思います。いまやフランス語、ドイツ語、スペイン語などといった近代的国民国家語についてはあまり語られず、たとえばスペインの中での地域語、それも何十という地域語が独立する、言語としての自立をめざすといった運動が生じつつあります。そして、その上に直接かぶさっているのが英語なのです。そのあたりが、地域主義とグローバル化の表裏一体のものではないかとみなされるところなのです。少数言語に関する世界会議などでも、たとえばアラスカの先住民族の人たちが報告します。その報告はやはり全部が英語です。自分たちの母語を侵した張本人である英語で、自分たちの母語の危機を訴えざるをえないというこの矛盾を、どう考えるかということです。伝達言語をもったことで自分たちのアイデンティティが主張できるようになったわけですが、④英語で英語の侵略を非難することの矛盾です。ところで、英語の侵略がかれらの母語を消滅に追いやったという主張は、やはり英語に対して異議申し立てをする形になるわけで、アメリカでの保守派の一部の人たちからはそれに対する反論も出てきています。そのような少数民族の主張に対してストップをかける動きが現にあるのです。そういう政治的問題も生じつつあります。

ヨーロッパにおける今日のいわゆるグローバル化は、国民国家を弱体化させるだけでなく、国境線の重要性をも低下させているようです。そしてまた、特定の国語の重要性とその地位は、グローバル化を促進する言語としての英語が拡張するなかでAしつとあります。

このようなグローバル化による国民国家のBは、同時に地方自体のCにつながっています。そして、言語の地位を自らに与えようとする地域語(方言)が、むしろそれを利用して見るようにも見えるのです。

方言の地位の格上げをめざす*ミクロ地域主義は、グローバル化に対立する反応ではなく、グローバル化によって与えられた機会を、小さな地域社会が利用していると捉えるべきであろう。

*畏友の社会言語学者、I.ピーター・トラッドギルさんのことばです。たしかに、⑤地域主義はグローバルなものに對比するものとして見るべきではなく、むしろグローバル化の一面であるときみなすべきなのかもしれないと思うのです。言いかえれば、その特異性こそがグローバル社会でもとめられる価値であって、現代における現象はその特異主義の*普遍化であるのと同時に、特定のアイデンティティを地球規模にひろめる動きでもあるということになるでしょう。

わたしの夢は、故郷の気仙地方の*ケセン語で新しい文学を創造し、ケセン語訳聖書をつくることだ。

敬愛する医師、II山浦玄嗣さんのかつてのことばです。山浦さんはその壮大な夢を実現するために、まずケセン語の文法書『ケセン語入門』(共同印

刷企画センター)を書き、つづいて辞書『ケセン語大辞典』(無明舎出版)を著しました。その表記は、独自に編み出したケセン語正書法(ケセン式ローマ字)によつています。そしてついに「ケセン語訳新約聖書」(イー・ピックス)を完成させたのです。この活動などは、まさにミクロ地域主義のモデルとなるものだと思われれます。

(真田信治『方言は気持ちを伝える』より)

※ 問題作成の都合上、文章の一部を省略したところがあります。

(注)

*サブカルチャー……社会の正統的、伝統的な文化に対し、その社会に属するある特定の集団だけがもつ独特の文化。日本のまんがなどがその例。

*クイーンズ・イングリッシュ……イギリスの標準英語。

*バック・トゥ・ローカル……「地元にもどる」という意味の英語。

*アイデンティティ……ある人の一貫性が、他者や共同体からも認められていること。自分は自分であるという自覚。自己の存在証明。

*グローバルゼーション……政治・経済・文化などの仕組みや制度が、国をこえて地球規模で拡大すること。

*ミクロ地域主義……国家よりも小さい地方の、住民の自発的努力によつて、その地方の独自性や自立性を高めようとする考え方

*畏友……尊敬している友人。また、友人に対する敬称。

*普遍化……共通している事柄をとりだすことによつて、法則性などを引き出すこと。

*ケセン語……岩手県や宮城県の一部である、気仙地方の方言のこと。

問一 ———— ①「そのような運動の風」とありますが、それはどのような動きのことですか。その説明として、最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 方言をなくし、標準語を全国に広めようという動き

イ マスメディアによる標準語完成への動き

ウ 方言の地位を向上させようとする動き

エ 方言を国の標準語に格上げしようとする動き

問二 ———— ② 「若者たちは携帯電話でなまり丸出しで話しています」とありますが、若者は方言のどのような点に魅力を感じているのですか。その

説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 自分の意志や感情を率直に伝えられる点
- イ 堅苦しい雰囲気と和ませることが出来る点
- ウ 自分にしかない個性を表すことができる点
- エ 誰とでも支障なくコミュニケーションが取れる点

問三 ———— ③ 「方言を大切にしよう、地位を向上させようという動き」とありますが、このような動きが起こっているのは世界にどのような変化があった

からだか筆者は考えていますか。その変化が書かれている部分をこの後の文章から探して、四〇字以上五〇字以内にまとめて説明しなさい。

問四 ———— ④ 「英語で英語の侵略を非難することの矛盾」とありますが、ここで述べられている「矛盾」と同じような「矛盾」を含む具体例として最

も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 日本の学歴社会の流れを変える目的で政治家を志していたAさんだったが、政治家になるためには学歴が必要だと気づきその道を諦めた。
- イ 結婚相手は絶対にお金持ちの人にする決めていたBさんだったが、その婚約者は優しさと人当たりの良さが魅力的な一般男性だった。
- ウ 英語を学ぶのは他者と意思疎通をすることが目的なのに、Cさんは学習の目的が定期テストで高い点をとることになっている。
- エ インターネットが児童に与える悪影響を多くの人に知ってもらいたいDさんは、インターネットでその危険性を世の人に発信している。

問五 ———— A から C に当てはまる語の組み合わせとして、最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|---|------|------|------|
| ア | A 低下 | B 弱化 | C 強化 |
| イ | A 低下 | B 弱化 | C 弱化 |
| ウ | A 上昇 | B 強化 | C 強化 |
| エ | A 上昇 | B 強化 | C 弱化 |

問六 ———— ⑤ 「地域主義はグローバルなものに対比するものとして見るべきではなく」とありますが、「地域主義」と「グローバルなもの」とはどのよう

な関係にあると筆者は述べていますか。その関係を簡潔に言い表した五字以内の語を本文に求め、ぬき出しなさい。

問七 — I 「ピーター・トラッドギルさん」の言葉や — II 「山浦玄嗣さん」の活動を筆者がここで紹介しているのは、どのような意図によると

考えられますか。その説明として、最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 前者は筆者の主張と同じ考えをもつ人物の言葉として取り上げている。後者は筆者の主張とは対照的な立場にいる人物の具体的な実践例として紹介している。

イ 前者はここまでの筆者の方言に関する主張を端的に表現した言葉として取り上げている。後者は方言の広がりには限界があることを示した実例として紹介している。

ウ 前者は直前で述べた筆者の考えの説得力を補強する言葉として取り上げている。後者は筆者と同じ考えをもつ人の具体的な実践例として紹介している。

エ 前者は国をこえて人や物が移動する現象が起こっているという主張として取り上げている。後者は地域を重視しようとする運動のモデルとして紹介している。

問八 この文章で述べられている内容として、最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 方言の地位が向上する現象が起こっているのは、いずれも英語が共通語として話されている地域においてである。

イ ベルリンの壁やソビエト連邦の崩壊によって各地域の帝国が崩れた結果、少数言語が復権した。

ウ 地域の特殊性が求められ、それを広めようとする動きが見られる背景には、現代のグローバル化の進展がある。

エ 山浦氏が聖書をケセン語訳したのは、キリスト教の布教にはケセン語訳した聖書が必要だと考えたからである。

問九 次の会話は、この文章を読んで先生と生徒が話し合いを行っているものです。これを読んで後の問いに答えなさい。

先生 筆者は本文の中で、アラスカの先住民の人たちが母語の危機を訴えていることを話題にしていますが、この文章が掲載されている本の他の部分ではその現状について、「アラスカ大学フェアバンクス校のマイケル・クラウス」の研究を引用して以下のように述べています。

クラウスは、アラスカ先住民言語センターを設立して、現地に残る二〇の先住民言語の保護に取り組んできたのですが、その二〇の言語のうち子どもたちに教えつがれている言語は、現在たったの二つだけだそうです。ほかの言語はすでに少数の高齢者の記憶にとどまるだけのものになっていて、急速に使われなくなっているということです。これはアラスカの状況ですが、世界各地の現状を象徴してもいます。このような少数民族の言語の衰退を押しとどめるための努力を世界規模でしないかぎり、人類の言語の九割が消滅し、多様性が失われるということを警告したのです。

A子 この部分を読むと地域の言語が急速に失われていっていることがよくわかるね。

B男 次の世代に十八もの言語が受け継がれない原因は、本文によれば英語の侵略ということになるのかな。

C美 ちょっと言いづらいんだけどさ、もういっそのこと言語を統一する方向に世界が動いていけばいいんじゃないかな。そうしたら、場所や状況に応じて言語を使い分ける必要はなくなるし、外国の人との意思疎通も簡単に行えるようになるよね。

A子 確かにそれは合理的な気がするけれども、そうすると本文や先生の教えてくれた引用部にもあるように「多様性が失われる」ことになるよね。

C美 その「多様性」がそもそもなぜ必要なものなのかな……。

B男 そんなこと考えたこともなかったけど、確かに何で必要なんだろう。グローバル化の流れを考えると、一つの言語の方が不自由じゃないよね。

D太 多様性が必要ないという考えも一見うなずけそうな気はするけれども、わたしは言語の多様性は重要だと思う。

ということも考えられるから。

(1) に入る、さまざまな言語や方言が存在しなくなること起こりうる問題点やデメリットを自分で考えて答えなさい。

(2) あなた自身が海外で生活した際に感じた、その国と日本との文化の違いを答えた上で、そうした文化の違いがあることの良い点を自分で考えて答えなさい。